

平洲先生 故郷にて 細井平洲

村翁 杖を 扶けて 集い

相對して 意 何ぞ 親しき

共に語る 韶齡の 日

悠々 鬪草の 春

細井平洲先生が、天明七年（1787年）郷里にて

郷里は、平島村（現在の東海市） 60歳

その9年後（1796年）普門院にて、鷹山公と会う

69歳 鷹山公は、46歳

偶 成 朱熹（中国の朱子学）

少年 老い易く 学 成り難し

一寸の 光陰 軽んず べからず

未だ覚めず 地塘春草の 夢

階前の 梧葉 己に 秋声